



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社木曽路
コード番号 8160 URL <https://www.kisoji.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 豊稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 戸谷 明宏

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,075	40.5	661		661		656	
2022年3月期第1四半期	7,169		1,713		413		330	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 619百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 370百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.77	
2022年3月期第1四半期	12.96	

(注) 2021年3月期末より連結財務諸表を作成しておりますので、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第1四半期	48,413		27,927		57.7	
2022年3月期	47,898		26,601		55.5	

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 27,927百万円 2022年3月期 26,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		8.00		8.00	16.00
2023年3月期(予想)		8.00		8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,300	57.0	500		500		620		22.46
通期	52,000	41.4	1,850		1,860	2.2	1,080	65.9	39.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	28,543,889 株	2022年3月期	27,413,889 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	381,782 株	2022年3月期	381,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	27,601,307 株	2022年3月期1Q	25,532,606 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組みや3度目のワクチン接種が進んだことや本年3月にまん延防止等重点措置が解除されたこと等により、人流も回復傾向となりました。しかしながら、円安、ロシアによるウクライナ侵攻等に伴うエネルギー価格高騰など物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、3年ぶりに制限のない営業を行うことができたものの、原材料・原油価格の高騰による仕入価格や水道光熱費、物流費の上昇等、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、個人衛生チェックの徹底、アルコール消毒液の店内設置、客席のパーティション設置など、感染予防対策を引き続き実施し、ご来店頂けるお客様に安心してお食事を楽しんでいただけるよう努めております。

営業面においては、テイクアウト商品の販売に努めるとともに、季節ごとのフェアの告知などを実施しました。また、店舗教育の推進により営業力を強化してまいりました。更にコア商品の徹底したブラッシュアップと新メニューの導入を行いました。

費用面においては、新規仕入先との取引を積極的に推進し原価低減を図ると共に、客数予想をもとにしたシフト管理の徹底等により人件費をコントロールし、売上原価、経費削減に努めました。

店舗展開、改築・改装につきましては、1店舗の出店、1店舗の業態転換、6店舗の改装（4店舗は現在改装中）、1店舗の退店を実施し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は194店舗となりました。

また、働き方改革の一環として株式会社木曾路において、5月9日、10日の2日間、全店一斉休業を実施しました。今後も働き易い魅力ある企業作りにも努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度 (2022年3月31日現在)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日現在)	増 減
総資産（百万円）	47,898	48,413	515
純資産（百万円）	26,601	27,927	1,325
自己資本比率（%）	55.5	57.7	—
1株当たり純資産（円）	983.02	991.67	8.66

当第1四半期連結会計期間末の総資産は484億13百万円（前連結会計年度末比 5億15百万円の増加）となりました。この主な内訳は、流動資産が225億54百万円、有形固定資産が151億39百万円、無形固定資産が28億99百万円、投資その他の資産が78億19百万円であります。

一方、負債合計は204億85百万円（同 8億10百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動負債が151億45百万円、固定負債が53億39百万円であります。また、当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は279億27百万円（同 13億25百万円の増加）となりました。この主な内訳は資本金が126億48百万円、資本剰余金が124億67百万円、利益剰余金が36億48百万円であります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.7%（前連結会計年度末は55.5%）、1株当たり純資産額は991.67円（同 983.02円）となりました。

(部門別の概況)

部門別	事業内容	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同期比 増減率 (%)
木曽路部門	しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曽路」	7,799百万円	40.6
焼肉部門	特選和牛の「大將軍」 国産牛焼肉の「くいどん」 焼肉の「じゃんじゃん亭」	1,936	48.5
居酒屋部門	居酒屋	176	29.1
その他部門	和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」	138	39.4
	その他	70	△13.9

木曽路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曽路」業態は、1店舗の出店、2店舗の改装（2店舗は現在改装中）により、当第1四半期連結会計年度末店舗数は123店舗であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、店内飲食での法人の宴会需要や予約獲得状況は回復が遅く厳しい状況が続いております。

このような環境の中で新規顧客の獲得、来店動機づくりにTVCMを実施するとともに、引き続き、お持ち帰りお弁当販売やご自宅でお楽しみいただける「しゃぶしゃぶセット」等の販売で客数増に努めました。前年同期は時短営業を行っていたこともあり、売上高77億99百万円（前年同期比 40.6%増加）となりました。

焼肉部門

特選和牛の「大將軍」、国産牛焼肉の「くいどん」及び焼肉の「じゃんじゃん亭」の焼肉業態は、1店舗の業態転換、3店舗の改装（1店舗は改装中）により、当第1四半期連結会計年度末店舗数は55店舗であります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、厳しい営業となりましたが、本年は営業時間が通常に戻ったこと等により、売上高は19億36百万円（同 48.5%増加）となりました。

その他の部門

居酒屋（とりかく、大穴）業態は、1店舗の改装（1店舗は現在改装中）により、当第1四半期連結会計年度末店舗数は6店舗となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、営業時間が通常に戻ったこと等により、売上高は1億76百万円（同 29.1%増加）となりました。

和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」業態は、店舗の異動はなく、当第1四半期連結会計年度末店舗数は5店舗であります。通常営業に戻ったこと等もあり売上高は1億38百万円（同 39.4%増加）となりました。

その他業態は、からあげ専門店の「からしげ」、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）、不動産賃貸等であります。売上高は70百万円（同 13.9%減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,617	18,180
売掛金	1,437	1,160
商品及び製品	38	94
原材料及び貯蔵品	1,848	2,044
その他	1,781	1,075
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,721	22,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,473	6,765
土地	6,198	6,198
その他(純額)	1,848	2,176
有形固定資産合計	14,520	15,139
無形固定資産		
のれん	1,916	1,872
その他	1,045	1,026
無形固定資産合計	2,961	2,899
投資その他の資産		
差入保証金	4,363	4,380
その他	3,359	3,469
貸倒引当金	△28	△29
投資その他の資産合計	7,693	7,819
固定資産合計	25,176	25,858
資産合計	47,898	48,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,203	1,253
短期借入金	4,500	4,500
1年内返済予定の長期借入金	490	5,290
未払法人税等	560	109
資産除去債務	89	65
賞与引当金	519	289
その他	3,628	3,635
流動負債合計	10,993	15,145
固定負債		
長期借入金	6,891	1,968
退職給付に係る負債	948	952
資産除去債務	1,296	1,297
その他	1,167	1,121
固定負債合計	10,303	5,339
負債合計	21,296	20,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,553	12,648
資本剰余金	11,371	12,467
利益剰余金	4,520	3,648
自己株式	△931	△931
株主資本合計	26,515	27,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	80
退職給付に係る調整累計額	13	13
その他の包括利益累計額合計	58	94
新株予約権	28	—
純資産合計	26,601	27,927
負債純資産合計	47,898	48,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,169	10,075
売上原価	2,599	3,268
売上総利益	4,570	6,806
販売費及び一般管理費	6,283	7,468
営業損失(△)	△1,713	△661
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	11	20
その他	1,304	14
営業外収益合計	1,322	40
営業外費用		
支払利息	19	10
賃貸借契約解約損	0	17
その他	2	11
営業外費用合計	21	40
経常損失(△)	△413	△661
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	18	26
特別損失合計	18	26
税金等調整前四半期純損失(△)	△423	△687
法人税、住民税及び事業税	31	47
法人税等調整額	△123	△79
法人税等合計	△92	△31
四半期純損失(△)	△330	△656
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△330	△656

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△330	△656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	36
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△40	36
四半期包括利益	△370	△619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△370	△619
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。